

## 第2回日進市史編集委員会 議事録

日 時	平成23年1月22日（土）午前10時40分～午前11時40分
場 所	日進市役所南庁舎 第6会議室
出席者	浅井常典委員、服部誠委員、山本文次委員、田中八隆委員
欠席者	林董一委員
事務局	吉橋教育部長、鈴木教育部次長兼生涯学習課長、桧垣生涯学習課長補佐、菅原主事
議 題	(1)市史編さん事業の進捗状況について (2)市史編さん委員会における提案事項について (3)広報「にしん」3月15日号の内容等について

発 言 者	発 言 内 容
事務局	ただいまより、第2回日進市史編集委員会を開始いたします。 はじめに、日進市史編集委員会代表の浅井常典様よりご挨拶をお願いいたします。
代表	【挨拶】約1年間活動を進めてまいりましたが、各委員の皆様には、非常に精力的に活動をしていただいているところです。いろいろ協議事項が出てまいりますが、積極的にご意見をいただき発刊に向けご協力いただきたい。
事務局	次に、協議事項に移ります。 このあとの議事進行は代表の浅井様をお願いいたします。
委員	では、協議事項（1）市史編さん事業の進捗状況について、事務局より説明をお願いします。
事務局	【資料に沿って説明】 【要旨】 民俗部会は4月以降、ほぼ毎月各区における聞き取り調査及び会議を開催してきました。これまで、米野木区、野方区、赤池区で2回ずつ聞き取り調査を行い、今年度さらに三本木区、北新区で聞き取り調査を行う予定です。 自然部会も、毎月部会の会議を開催し調査の進捗を確認するとともに、調査地区・調査方法等について調整を行っています。また、植物・動物・昆虫・地質等の各委員が引続き市内の各地区で個別調査を行っています。
代表	ご質問・補足等ありましたらお願いします。
委員	民俗部会は、まだ全ての地区の調査が終了していないので、地区ごとの特徴を確認するところまではいっていないが、各地区の話者の方々からいろいろ興味深いお話を伺うことができおり、とても楽しく調査を行っています。
委員	さぎっちょ（左義長）は各地区のものを取材しているのか。
事務局	さぎっちょ（左義長）は、今年は、本郷、折戸、北新、岩藤、野方の各区で実施したが、北新区についてはシマごとに実施している。執筆委員と事務局とで分担してすべて取材したが、やり方など区ごとに異なっている。昔は子どもたちが中心となって行っていたが、今は大人が中心となり、子どもたちも参加する形となっています。
委員	ヤマノコについてはどうか。
事務局	ヤマノコについては、まだ十分な情報がなくはっきりしない状況です。今後、調査を進めていきます。
代表	浅田ではずいぶん前からヤマノコはやっていないが、自分の子どものころはやっており、自分の2・3級あとの学年までやっていた記憶がある。その際に、赤池と梅森を相手にケンカ（石投げ）をやるのが恒例となっていた。

代表	他に、ご質問等はありませんか。 ないようですので、これまでどおり引続き調査を進めていただきたいと思います。 次に協議事項（２）市史編さん委員会における提案事項について、事務局より説明をお願いします。
事務局	【資料に沿って説明】 【要旨】 第２回市史編さん委員会において、以下の２点について提案事項がありましたので、ご審議いただきたい。 １ 音の記録を市史編さんの一環として作成してはいかがか 現状では、すでに各区のお囃子やお馬頭についてDVDを作成している。 また、一部の地区についてはまつりのDVDも作成済みである。 ２ 物の名前、方言及び地名に関する章を設けてはいかがか 現状では、地名については『日進の地名』がすでに発刊されている。また、物の名前については、聞き取り調査の際に注意して記録することが可能。 方言については、簡単ではあるがまとめたものが過去に発行されている。 言語学的な分析は本市としては過去に行っていない。民俗部会では、言語学的な調査を実施するのであれば、日進市域のみの調査ではなく、もっと広域的な調査を行う必要があるのではないかと意見が出された。
代表	市史編さん委員会における提案事項に対しまして、ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。
委員	映像記録の作成については、市史編さんとは別に、教育委員会などが毎年少しずつ進めているという自治体が多いと思う。専門の業者の方が受託して実施しており、市史編さん事業とは異なる事業ではないかと思えます。
委員	これから音の記録に取り組むということになれば、莫大な予算が必要となるのではないか。当初の全体計画の中にはなかった計画・予算なので、急遽この市史編さん事業として取り組むのは、物理的に難しい話ではないかと考えます。 市史編さんについては、現在の計画を予定どおり進めることが、何より大事なことであると思う。
委員	方言については、大昔に発刊された市史には、民俗に絡めて方言を収録しているところもありましたが、それはかなり古い時代の市町村史のことです。現在では、民俗で方言を扱わなくなっている。言語学的なジャンルであるとの解釈が主流です。もし、方言を取り扱うなら、全く別の本を別立てで作成するというのほうがいいのではないか。
委員	方言について、言語学的な取扱いをしないで、方言と標準語を併記するだけの形のものを作成するという考え方もあるが、人手も時間も足りず、これから開始して、目標年度に完成するのは無理である。きちんとしたものを作るなら、今回の計画とは別に考えて、新たに取り組む方がいいのではないか。
代表	音の記録については、よく出てくるご意見で、たとえば他市町の自然編でも「秋の虫の声を記録しては」とか「鳥の声を記録しては」などのご提案をいただく。これらは市史編さんとは全く別ものであると思う。 その他に、小中学生に分かりやすいハンドブックを作成してはどうかのご提案が出ることもあるが、これも別のものであると思います。市史をベースにして、次のステップとしてそれらのものを作成していくという考え方をすべきではないでしょうか。
代表	他にご意見等はありませんか。 特にないようですので、編集委員会の結論としては、当初の計画のとおり進めていただくということでよろしいか。
各委員	異議なし
代表	次に協議事項（３）「広報にっしん」３月１５日号の内容等について事務局より説明をお願いします。

事務局	<p>【資料に沿って説明】</p> <p>【要旨】 今後の市史の啓発・広報計画について説明。</p> <p>現在、毎月1日号に「にしんむかしむかし」というページの一部に「ただいま市史の調査中です」というスペースをもらっており、情報提供を呼びかけている。また、年に2回の計画でトピックスのページ1ページを市史のPRページとして活用していく予定。</p> <p>広報の他に、市民向け市史講座を開催の予定です。</p>
代表	事務局の説明について、ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。
委員	全体としては特に問題はないが、トピックスページのタイトルが3月15日号は「日進市史 民俗編・自然編調査中です」となっているが、これはこのとおりとなるのか。
事務局	このページは、原稿の段階なので、いろいろ変わる可能性があります。このタイトルも、まだ確定ではありません。
委員	市史が発刊される時期になったらタイトルも変えないとならないと思うがどうか。
事務局	これは「トピックス」のページなので、毎回同じ固定したタイトルでない方がいいのではないかと考えている。現在のタイトルも、まだ案の状態であると考えていただきたい。
委員	タイトルは事務局にお任せするが、よく検討していただきたい。そのようなことではいかがか。
委員	異議なし。
代表	<p>他にご意見はございませんか。</p> <p>ないようですので、トピックスの市史のページのタイトルについては考えていただくこととし、全体としては事務局の原案どおりとすることとしたいと思います。</p>
代表	これにて協議事項についてはすべて終了いたしました。他に協議しておきたい事項ございませんか。次の、連絡事項について事務局から提案をお願いします。
代表	<p>では、1点気になっている事項があるので発言をお許しいたきたい。</p> <p>植物や昆虫の場合、ある貴重種が日進市で発見されても場所を明らかにすると心ない人に取られる心配があるので、発見場所を明確にしないようにしている。(めずらしいトンボやギフチョウなど) そのため、その貴重種に関しては、実際に日進市に生息しているにも関わらず、学会の評価としては、誰も確認していないということになっている。それを学会の機関紙などに発表すれば、日進市での生息確認を評価されるが、場所の特定がされるので、発表ができない。市史も含め、どこまで情報を出すかが難しい。</p>
事務局	クモや蛾の専門の先生は、貴重種を発見した場合、学会に発表するとおっしゃっていた。クモ・蛾などは好んで取りに来る人が少ないし、見つけるのも困難だが、チョウやトンボは乱獲されやすい。
代表	<p>すぐに結論がでることでもないので、今のところこういう課題があるということではないかと思えます。</p> <p>他にご意見もないようですので、これにて協議事項をすべて終了いたします。</p> <p>次の、連絡事項について事務局から提案をお願いします。</p>
事務局	<p>来年度の編集委員会についてご説明します。今後、各部会で執筆要領について議論を行っていく予定です。監修者の林先生から第2回市史編さん委員会でご発言がありましたが、来年度の秋に開催予定の市史編さん委員会では、オールカラーとするかどうか、版の大きさをどうするかなどを諮って決定していく予定ですので、その前に編集委員会を開催してご審議いただく必要があります。</p> <p>時期的には、来年度の8月ごろに次回の編集委員会を開催したいと考えておりますが、それまでにそれぞれの部会で執筆要領について結論を出すことは可能でしょうか。</p>

各委員	それについては問題ありません。
事務局	それでは、来年度の編集委員会は8月ごろに開催の予定とさせていただきます。具体的な日時は別途調整させていただきたいと思います。
代表	他にご意見はありませんか。無ければ議事を終了させていただきます。
事務局	本日は大変ご苦労さまでございました。本日の審議結果は今後の編さん委員会にご報告させていただきたいと思います 最後に吉橋教育部長より一言お礼を述べさせていただきます。
教育部長	本日はお忙しいところありがとうございました。 各委員の皆様には、厳しいスケジュールをやり繰りしてご出席いただき、また、会議時間に制限がある中で効率的に審議いただきありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。
	(午前 11 時 30 分 閉会)